

第2回信州首都圏総合活動拠点整備推進会議発言要旨

H25.11.12（火） 10:30～12:00

県庁第三応接室

（阿部知事）

- ・ 活動拠点については現在考えながら走っている状況で、物件と並行して進めている。拠点では信州の価値を本気で発信していく。大きな契機であり、前向きに進めていく。

（中村委員）

- ・ 交渉物件の立地場所は大変良いところ。ただ、いわゆる銀座ルールといわれるものがあり、看板や景観などは一定の規制がある。
- ・ 従来の他県アンテナショップとの違いをもっと示す。具体的に事例をあげながら進めてほしい。
- ・ 計画策定事業者のu m a r iにずっとかかわってもらわないとダメ。収支のバランスを取りながら、あとの問題を合わせてやっていってもらいたい。
- ・ 市町村にとってどんなことが実現できるのか。また、参加できるのか。フィードバックできるのか。その整理が必要。
- ・ この物件は銀座4丁目から一步奥へ入るので、あまり人の流れはない。朝は外国人のおみやげ、昼～夕方家族・夫婦など、夜はOL、サラリーマンなど。
- ・ すずらん通りは午後車が通らないので環境的には良いが、駐車場がないなど駐車場の問題が出てくる。長野県のテレビ・ラジオ局、新聞が入るなど新しい仕組みは必要。
- ・ 通りに多い外国人への対応をどうするのか。立地はいいところなのであとは発信のやり方か。立ち寄ってもらえるだけの魅力、集客力が必要。

（野原委員）

- ・ 中村委員と物件の現地に行ってみた。ビル施行のこだわりがあり、木を使ったユニークなビル。長野県のコンセプトに合う。
- ・ 問題は車の進入規制があり、荷物の搬入方法が課題。
- ・ のぼり旗禁止なので集客の方法はテレビ番組などマスコミの活用か。何が活動拠点で行われているのかを広められるように。

（阿部知事）

- ・ 拠点の場所を夜、見てきたがあそこの場所は良い。

（溝畑委員）

- ・ 拠点設置の必要性は分かるが、なぜこの時期に設けるのかを明確にする必要がある。今後のコンセプトづくりにつながる。
① 2013年は土砂災害が多発し、森を守る、森の聖地、信州のミッションある。

② 和食が世界遺産に登録。これを長野で構築する。

③ 2020年東京オリンピックが決定し、東京のハブ機能が高まる。冬期五輪を開催したNAGANOを世界に発信していく。

・発信は色々な媒体とのコラボが大切。スポーツもサッカーJ2松本山雅は毎週試合があるので、大型モニターに映像を流してはどうか。

(山口委員)

- ・ 発信には定期的なイベント開催も欠かせない。
- ・ 「美しさと健康」をうたっているが、例えば添加物の入った商品は置くのかなど販売する商品構成も大事。ワインや日本酒等、健康に対する商品を明確にしていく。

(市川局長)

- ・ 市長会としても負担してでもやりたい。早く提示してほしい。
- ・ 3階の飲食店とどう連動性をもたせるかが今後の課題。

(中村委員)

- ・ 学生の情報発信、若者のたまり場などそれもターゲット。

(水本委員)

- ・ イベント実施をいかに知らせていくか。また、いかに継続させていくかがポイント。
- ・ 物販については営業努力し、収益を意識した経営をしていく必要がある。

(佐々木委員)

- ・ 移住交流などを行う4階は若者や学生などのたまり場に。物販も大事だが、これが一番大切。

(今井委員)

- ・ 整備構想も一段とレベルアップした。商工連でもお呼び掛けするが概念的に分かりづらい。分かりやすい説明を。
- ・ 拠点で働くスタッフは英語対応ができ、おもてなしができる人材を。
- ・ 物販の商品構成や地元商店街との連携など、どうやって参加できるのか。参加しやすい手続きを。各論の詰めをきちっと行うこと。

(細野委員)

- ・ ランニングコストをどう読むのか、明確に。PR経費はきちっと決めておく。

(農政部長)

- ・ 物販では上質なものをどういった形で提供していくか、県観光協会と今後詰めていきたい。

(中村委員)

- オリンピック開催が決定し、銀座の価格が上昇している。ダクト換気部分など後では出来ない部分もあり、細かい部分にも配慮が必要。
- 物販は収支計画をしっかりと立てていかないとだめ。またネットでも商売を。
- 現在、B to B、B to Cが別々に行われているが、どこかで束ねるところがないと大変。

(野原委員)

- 今後変更に変更を重ね、コンセプトの概念を動きながら創り上げていく。かなり動くと思うが、プロデュースは継続してもらいたい。フロア割りは効果を見ながら詰めていく。
- 集客にどんな工夫、手法で行うか。集客は物販、イベントによるところが大きいと思う。レタスやおやきを売っても合わない。銀座で発信となるとグレードを上げたものでやる必要がある。外商も質を上げていかなければいけないし、市町村もグレードを上げる必要がある。グレードアップの契機にしてもらいたい。

(溝畑委員)

- 広報計画は世界に向けて発信してほしい。HPは多言語化し、イスラムの礼拝堂が設けられたら話題になる。
- 若い人はスポーツで集まるので、Jリーグをやれば山雅ファンの拡大にもつながるし、東京オリンピックやラグビーワールドカップなどのコンテンツはファンが集まる。

(中村委員)

- 東京では料理に人がいっぱい集まる。先程の食品の添加物の話もどこまでの範囲で商品提案するのが課題。

(阿部知事)

- 市町村や団体、企業の皆様の御意見を尊重して具現化させていく。ぜひとも成功させていく。なぜこの時期かということだが、「美しさと健康」の県の施策をこの拠点にフォーカスしていく。具体的には、スポーツや食を具体化し、オリンピックを前面に出す。また、外客対応については弱点なので工夫していく。おもてなしも施策と連携させてやっていく。

(観光部長)

- 今後、具体化したものに落とし込む作業をしていく。県庁内も含め行っていくので、継続して力添えをお願いしたい。